

# 自然学校? キャンプも? OKUINA ってどんなところ?

## いながわ 特派員報告



山本のゆり



岩井 亜希子

川遊びに山遊び、アウトドアが楽しい季節となりました。宿泊でも日帰りでも、のんびりにもアクティブにも楽しめる、「兵庫県立奥猪名健康の郷」をご紹介します。

▶ 問合せ 県立奥猪名健康の郷 (☎ 769 - 0485)

町の北部にある「奥猪名健康の郷」は、施設内に清流猪名川が流れ、緑に囲まれた自然豊かなところ。元々は自然学校の受け入れが主でしたが、現在は青少年のみならず、小さなお子さんから大人まで広く利用されています。

### 施設長の前中さんに お話を伺いました。



特派員 一般の方の宿泊はできますか？  
前中さん 自然学校の利用

が主ですが、スポーツ団体の合宿やご家族やグループなどでも宿泊できます。

施設内には、猪名川上流を利用した親水広場や、6種類の木製遊具のある冒険の森があり、家族で楽しむこともできます。遊んだ後は温泉でリラククスしていただけますよ。

特派員 食事はできますか？  
前中さん 本館内にある食堂をご利用ください。土・日・祝日は昼食営業（11時30分～14時）していません。

特派員 野外炊事場の利用は？  
前中さん カレー作りやバーベキューができます。食材は衛生上持ち込みをご遠慮いただいています。



### 百聞は一見にしかず！ 「奥猪名アマゴつかみ」レポート

親水広場で人気イベント「奥猪名アマゴつかみ」が開催されました。開始時間になると、簡単な説明の後、早速アマゴの待つ澄み渡る清流の中へ！素早いアマゴたちを翻弄され、まくりあげた服も次第にびしょ濡れに。なかなか捕まえられませんが、ようやくアマゴを捕まえた参加者を見たのは、20分程経った頃でしょうか。食べる分だけのアマゴをバケツに入れた後は、内臓取り、串差しの説明を受け、いざ実践です。串に刺されたアマゴは、スタッフが塩を振り、事前に準備した火の上に並べて焼き、みんなでおいしくいただきました。

### 参加者の声

- ・子どもが普段はあまり魚を食べないのですが、持って帰りたいと言う程美味しかったようで、私が食べる分がなくなりました。
- ・身がぎっしりで新鮮で美味しい！
- ・最初はヌルヌルするのが嫌がっていた娘が、内臓取りを嫌がらずやっている姿にびっくりしました。
- ・猪名川の水が冷たくて足が冷えたけど、この温泉につかってゆっくりして帰ります。

次回予告  
夏休みの日曜日にアマゴつかみが開催されます。  
とき 7月26日、8月2・9・16・23・30日  
詳細は同施設ホームページまで



小学生サマーキャンプでの沢登りの様子

特派員 そういうプロの方々をサポートがあれば、アウトドア初心者でも、小学生だけ参加のキャンプでも、心強いですね。

前中さん 大学で野外活動を専攻したスタッフや自然学校を50校以上指導した経験豊富なスタッフたちです。小学生キャンプの様子は、カメラを専門に学んだスタッフが撮影し、参加者には無料で配付します。

すので、事前予約が必要です。特派員 奥猪名のイベントのチラシを時々見かけます。  
前中さん 年間を通して、小学生向けキャンプや家族向けのアウトドアアクキング、アマゴつかみなどのイベントを行っています。イベントの企画運営は、プロの野外活動指導者が担当します。  
特派員 プロってどんな方々でしょうか？

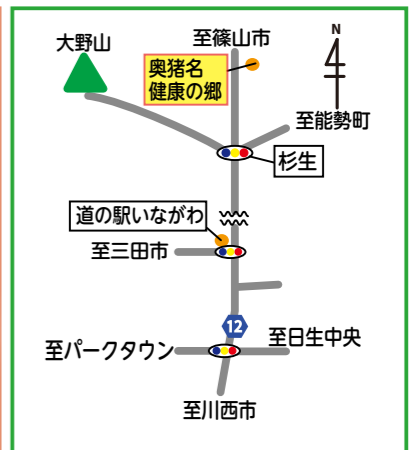
### 奥猪名にはこんな施設も



▲約13℃の冷鉱泉(※)を沸かした鉱泉浴室。無料休憩室あり。利用料大人210円 子ども100円。  
※源泉の温度が25℃未満のもの



▲大人気の最大1室10人まで宿泊できるロッジ。



編集後記  
食堂でいただいたカツ丼、あの味あのボリュームであの値段！人気メニューだそうです。のんびりするにもよし、子どもの教育にもよし、素敵なロジにも泊まってみてください。猪名川町在住ながら、今まで来たことがなかったことをもったいなく思いました。

心の成長のきっかけになればいいと思います。  
奥猪名イベントが、



### 副施設長 谷口さんのお話

アマゴつかみなどのご家族向けのイベントでは、小さな子どもから大人まで、近場でゆっくりと休日をご過ごすような内容を企画しています。また、小学生向けのキャンプは、長くて4泊5日ですが、安全面に留意しながら、自然の中で楽しみつつ、子どもたちの生きる力を引き出せるように心掛けています。安易な手助けはしませんが、精神面でもサポートしながら、スタッフ一同、子どもたち一人ひとりの成長を見守ります。奥猪

60周年で、ますます元気な猪名川町！

# ふおと にゅ〜す

交通事故「0」に向けて！



▲5月11日、春の全国交通安全運動の啓発を日生中央駅付近で行いました。町交通安全推進協議会、川西警察署など関係団体といなぼうたちが協力して、県道と駅前広場で啓発グッズを配りました。

わたしたちの住む町をきれいに！



▲5月17日、町内でクリーンアップ作戦を実施しました。毎年この時期に、春の環境美化週間の活動の一貫として行われており、たくさんの方が参加し、約30トンのゴミが回収されました。

夢は大きく！宇宙まで！



▲5月19日、楊津小学校で宇宙航空研究開発機構(JAXA)出前授業「宇宙へレッツゴー！」を行いました。ペットボトルで作ったロケットなどの楽しい授業に、児童は「望遠鏡を買って宇宙を調べたい」「宇宙飛行士になりたい」と、目を輝かせていました。

備えあればうれいなし！



▲5月15日、町職員による水防工法訓練を行いました。風水害時に役に立つ土のうの作り方を学び、約400個の土のうを備蓄しました。

よもぎ、たくさんとれたよ！



▲5月8日、大島小学校の児童たちが周辺の土手に生えているよもぎを摘みました。「いっぱいつんだよ！」「かえるがいたよ！」と、晴天のもと朗らかに自然とふれあいました。



▲4月26日、「町の魅力再発見」をテーマに、町制施行60周年記念式典を行いました。式典では長年の功績をたたえ、功労者を表彰しました。

また、式典のオープニングではまちの魅力がいっぱい詰まった映像を披露し、白金小学校の児童によるオリジナル震災復興支援ソング「WA」の合唱や猪名川源流太鼓の太鼓演奏などで会場が盛り上がりしました。

エンディングを飾った、「猪名川音頭」では、大勢の人が参加して息ピッタリの踊りを披露しました。



このまちと、いつまでも、いながわ



←←いなぼうマークのある画像を Aura sma で読み込むと当日の様子が動画でご覧いただけます。アプリの使い方はホームページをご覧ください。

